

佐藤省二議員

人口減少社会のメリット

問 少人数学級を可能にし、

女性や高齢者の就業機会が拡大するなどのメリットを総合計画にどう反映させていくのか。

答 人口減少社会の到来も視野に入れ、女性が働きやすい環境づくりの推進、高齢者が地域社会の中で経験、技能等を生かす場の確保と社会参加の促進を総合計画に反映させたい。



中央子育て支援センターのちびっこフロアー

少子化は女性の就業形態が原因では

問 出産を機に離職した人は約半数にのぼる。支援策を望む。

答 次世代育成支援行動計画に基づき、支援の充実に取り組み組んでいる。今後は、保護者の病気時などに一週間程度児童を預かる子育て短期支援事業、一時保育を実施する保育所の整備なども進めていきたい。

空き住宅の活用

問 街のにぎわい、治安を保つために、空き家を放置してはならない。やがて地域全体が衰退する。活用を望む。

答 貴重な御意見として、今後の行政課題とさせていただく。

芝田禮二議員

防災について

問 「TOUKAI 0」推進事業は啓蒙活動だけでは進まない。職員のローラー作戦で推進に回っては。

答 この事業の中心である耐震補強工事を促進する上で、一つの方法であると受けとめ、検討していきたい。

災害弱者について

問 災害弱者の安全を守るため、防災関係者と福祉関係

答 企業誘致は、市長自身の企業訪問や県との連携を深めるなど、全力で取り組んでいきたい。工業団地については、山科東工業団地を整備し、豊沢地区や小笠山地区についての可能性調査を進めていきたい。



山科東工業団地造成予定地

者の情報交換と連携、福祉避難所の対応は十分か。

答 相互の情報交換を密にし、防災対策を推進していきたい。福祉避難所については、応援協定を締結している施設管理者と連携し、平常時から施設の利用方法の確認等を実施している。

財源確保について

問 財源確保と雇用の創出のため、企業誘致や訪問、また工業団地の対策は十分か。

答 企業誘致は、市長自身の企業訪問や県との連携を深めるなど、全力で取り組んでいきたい。工業団地については、山科東工業団地を整備し、豊沢地区や小笠山地区についての可能性調査を進めていきたい。

企業誘致は、市長自身の企業訪問や県との連携を深めるなど、全力で取り組んでいきたい。工業団地については、山科東工業団地を整備し、豊沢地区や小笠山地区についての可能性調査を進めていきたい。